

サウジアラビアに専門家を派遣しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省とサウジアラビア省エネルギープログラム(SEEP)との省エネルギーに関する協力事業の一環として SEEP を訪問し、現在サウジが構築を進めているエネルギー管理に関する制度構築を支援するため我が国の情報、経験を提供し、意見交換を行いました。また、10月下旬に予定される IEF(International Energy Forum)省エネルギー会議に向けての準備調整を行いました。



SEEP 本部が入っているビル



リヤド上空から見た住宅街

日本とサウジ政府間での協力合意に基づき、5月17日リヤドのSEEP本部において経済産業省および省エネルギーセンター、現地大使館が参加して省エネルギー協力事業についての検討会議が開催されました。ECCJは経済産業省から受託している人材育成事業としてこれに参加し、今回はサウジ側が進めているエネルギー管理制度の整備進捗状況を確認するとともに、省エネルギーの推進制度の整備支援活動の一環として我が国の省エネルギー表彰制度(省エネ大賞)の実務概要やトップランナー基準の動向について説明し、サウジ側の整備活動に資する情報提供を行いました。また、10月下旬に予定されているIEFのアジア省エネルギー会議に向けて、準備状況の確認および日本からの発表、展示内容などについて詳細に調整、確認を行いました。これらの活動は、日本サウジビジョン2030においても確認されているとおり、サウジにおける省エネルギーを継続して支援するという両国の協力関係の具体的活動として行われているものです。